

運用経過の ご報告

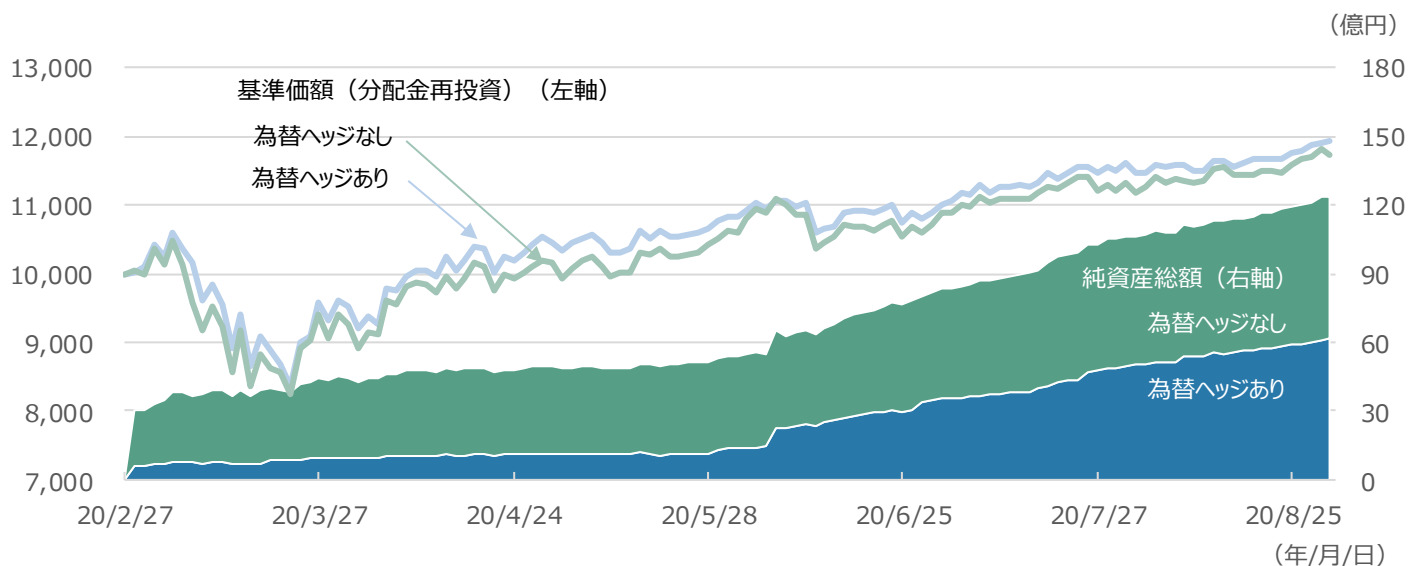
2020年4月～2020年8月

モルガン・スタンレー
グローバル・サステイン戦略ファンド
(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)
追加型投信／内外／株式



「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド」のパフォーマンス

基準価額（分配金再投資）と純資産総額の推移



上記期間中に分配金実績はありません。

期間：2020年2月27日（設定日前日）～2020年8月31日、日次、設定日前日を10,000として指数化

基準価額（分配金再投資）の期間別騰落率

	2020年4月	2020年5月	2020年6月	2020年7月	2020年8月	3ヵ月	5ヵ月	設定来
為替ヘッジあり	9.6%	2.2%	1.1%	5.5%	3.9%	10.9%	24.2%	19.3%
為替ヘッジなし	8.2%	3.1%	2.0%	4.2%	5.0%	11.6%	24.4%	17.2%

2020年8月31日現在

騰落率の各計算期間は、各月の前月末から月末、また3ヵ月、5ヵ月は作成基準日から過去に遡った期間、設定来は2020年2月28日以降としております。

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド」 を取り巻く投資環境 (2020年4月～2020年8月)

世界株式市場の動向

【4月】3月の米雇用統計の悪化懸念等から、軟調なスタートとなりましたが、FRB（米連邦準備制度理事会）の緊急資金供給策の発表などを受け、上昇に転じました。世界各国で経済活動再開への動きが広がる中、月間で上昇となりました。

【5月】新型コロナウイルス感染拡大の責任を巡る米中対立への懸念などから下落して始まりました。中旬には、ワクチン開発への期待などを受け上昇に転じ、その後も米欧経済活動の正常化期待などから上昇基調を維持し、月間で上昇となりました。

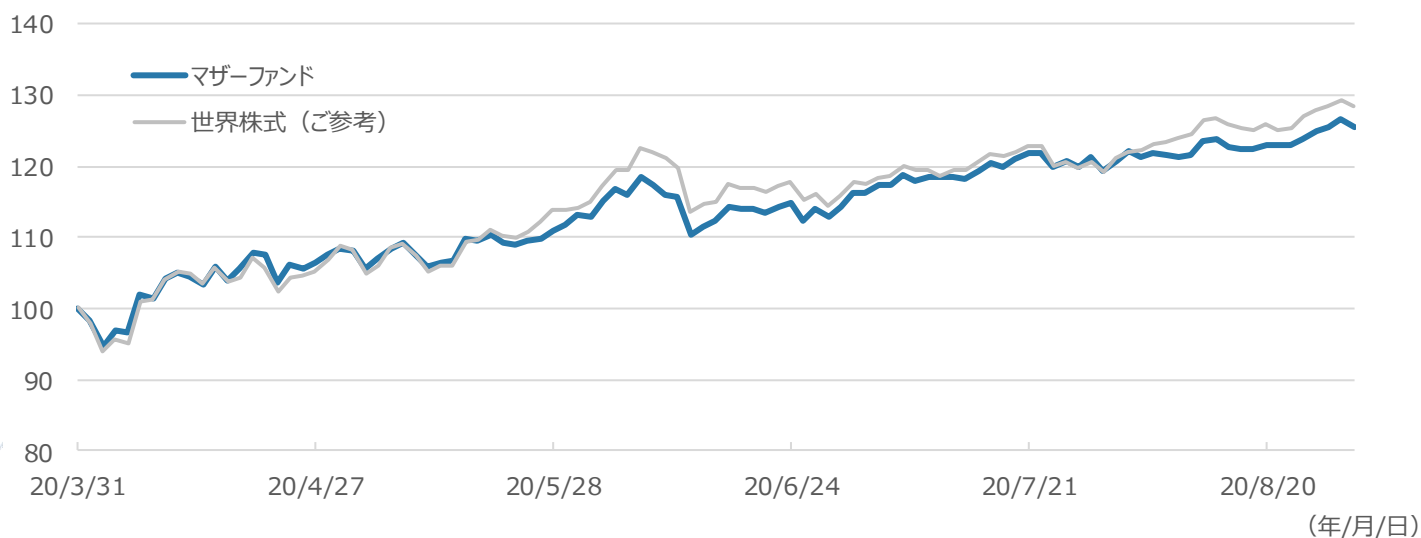
【6月】5月の米雇用統計が市場予想に反して改善したことなどが好感され上昇して始まりました。中旬には、米欧で新型コロナウイルスの感染再拡大が警戒され反落しましたが、FRBによる社債購入の決定などを受け持ち直しました。その後も世界的な感染拡大懸念が残りましたが、6月のユーロ圏総合PMI（購買担当者景気指数）の改善等もあり、月間では上昇となりました。

【7月】上旬、好調な米経済指標の発表が相次いだ一方、欧州委員会によりユーロ圏経済見通しが下方修正されましたが、世界株式は上昇しました。中旬には新型コロナウイルスの一部ワクチン開発の進展が報道され続伸しました。下旬には、米中対立の激化など先行き不透明感が高まり、上値の重い展開となりましたが、月間では上昇となりました。

【8月】上旬、7月の米ISM製造業景気指数やユーロ圏製造業PMIなど市場予想を上回る経済指標を背景に上昇しました。その後も新型コロナウイルスのワクチン実用化への期待、FDA（米食品医薬品局）が新型コロナウイルスの新治療法を特別に認可したことなどで続伸、さらにパウエルFRB議長がゼロ金利政策を当面維持するとの発言やドイツ政府の企業支援策の延長決定などがあり月間で上昇しました。

（出所）モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報提供を基に野村アセットマネジメント作成

「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略 マザーファンド」と 世界株式（ご参考）のパフォーマンス推移



期間：2020年3月31日～2020年8月31日、日次、2020年3月31日の値を100として指数化

世界株式：MSCI ワールドインデックス（配当込み、円換算ベース）、MSCIワールドインデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、野村アセットマネジメントが独自に円換算したものです。

MSCIワールドインデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

* 当該インデックスは、当ファンドのベンチマークではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド」 の運用状況 (2020年4月～2020年8月)

当期間において、世界株式市場が上昇する中、「グローバル・サステイン」の基準価額も上昇しました。

同期間において、基準価額の上昇要因となった主な銘柄は、マイクロソフト、SAP、レキットベンキーザー・グループなどです。

マイクロソフトは、世界最大のソフトウェア会社です。新型コロナウイルスの感染拡大で、世界各国で在宅勤務が増え、コミュニケーションツールやクラウド関連サービスなど同社製品・サービスの需要が高まっていることなどを背景に、株価が上昇しました。4月に発表された1-3月期決算は、売上高の成長が前期よりも加速する好調なものでした。特にクラウドプラットフォームAzureが前年同期比59%増の高い成長率となり、利益率も向上したことが注目されました。

レキットベンキーザー・グループは、世界的な家庭用・パーソナル用品メーカーです。1-3月期決算で、新型コロナウイルス問題などからヘルスケア部門が大幅に改善し、さらに消毒関連の多い衛生・ホーム部門も好業績であったことなどから、株価が上昇しました。

SAPは、ERP（基幹業務の統合処理）システムの世界最大手です。4-6月期決算の事前報告を好感されたことなどから、株価が上昇しました。前四半期決算の失望要因であったソフトウェア・ライセンス事業(ERPの新規契約)が改善したことが評価されました。

(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報提供を基に野村アセットマネジメント作成

組入上位10銘柄（マザーファンドの状況）

マザーファンドの基準価額騰落率 25.6%

順位	銘柄名	セクター	国・地域	純資産比	株価騰落率 (現地通貨ベース)
1	マイクロソフト	情報技術	米国	6.9%	43.0%
2	レキットベンキーザー・グループ	生活必需品	英国	6.9%	22.1%
3	SAP	情報技術	ドイツ	6.2%	37.3%
4	ビザ	情報技術	米国	5.6%	31.6%
5	アクセンチュア	情報技術	アイルランド	5.4%	47.0%
6	ヘンケル	生活必需品	ドイツ	4.5%	18.1%
7	プロクター・アンド・ギャンブル	生活必需品	米国	4.2%	25.8%
8	バクスターインターナショナル	ヘルスケア	米国	4.0%	7.2%
9	ベクトン・ディッキンソン	ヘルスケア	米国	3.8%	5.7%
10	アルファベット	コミュニケーション・サービス	米国	3.7%	40.2%

2020年8月31日現在、株価騰落率、基準価額の騰落率は2020年3月末～2020年8月末

株価騰落率は、上記期間の実績でありファンドの保有期間ではありません。

セクターはGICS産業分類によります。国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

純資産比は、マザーファンドの数値です。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド」 組入銘柄の評価ポイントと今後の運用方針

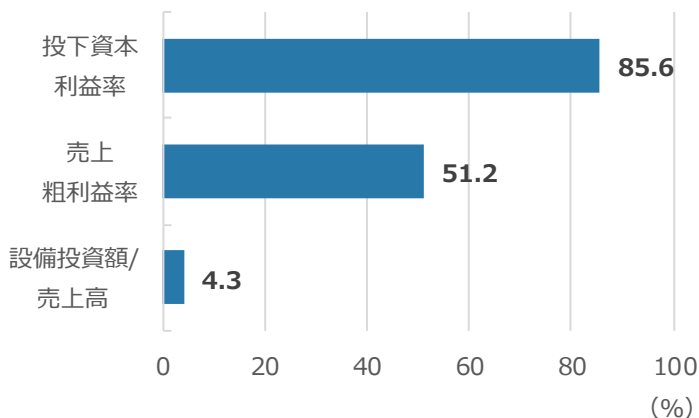
組入銘柄の評価ポイント（組入上位10銘柄からのご紹介）

● プロクター・アンド・ギャンブル

米国を基盤とする世界最大の家庭・パーソナルケア用品メーカーです。部門毎・グローバル拠点毎の経営判断・責任委譲などが改善していることを評価しています。また、マーケティングや販売におけるデジタル投資で、同業他社に勝り、ブランド力が向上しています。さらに、コロナ禍で衛生用品に対する消費者の需要が高まる中、購買力のある先進国が売上の約7割を占めており、衛生用品の売上が伸びやすくなっています。

ESGの観点では、プラスチックごみから再生されたペットボトルを率先して使用しており、海洋プラスチックの様に劣化などで再生コストが増加する場合でも、同社は積極的に取り入れています。

企業のクオリティを測る指標



2020年8月31日現在

(出所) モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの情報提供を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

今後の運用方針

ウィリアム・ロック

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
インターナショナル・エクイティ運用チーム
グローバル・サステイン運用戦略運用責任者



ブラディミア・ディマイン

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
インターナショナル・エクイティ運用チーム
ESGリサーチ責任者



当ファンドは、強力な無形資産や価格決定力、高い利益率を裏付けに企業価値を持続的に拡大することが期待される銘柄（＝高クオリティ企業）に集中投資を行ないます。高クオリティ企業への投資を行なうために、「ESG（環境・社会・企業統治）インテグレーション」「エンゲージメント・議決権行使」を運用プロセスに組み入れています。さらに、「ネガティブ・スクリーニング」を加え、よりESG問題に配慮しつつ優れたパフォーマンス獲得を目指して、運用を行なっております。

新型コロナウイルス問題の動向や経済への影響が不透明な中、高クオリティ企業は、継続的な収益による安定した売上高と、価格決定力による安定した売上高利益率により、予想EPS（一株あたり利益）の下落を抑えることができ、株価の下値抵抗力が期待できると考えます。足元、株式市場のPER（株価収益率）は高まっており、反落するリスクが高いことから、下値抵抗力のある高クオリティ企業への投資は重要だと考えられます。

上記の内容は当資料作成時点のものであり、今後変更になる場合があります。

ファンドの特色／投資リスク

1 世界各国（新興国を含みます。）の株式（DR（預託証券）※1を含みます。）を実質的な主要投資対象※2とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

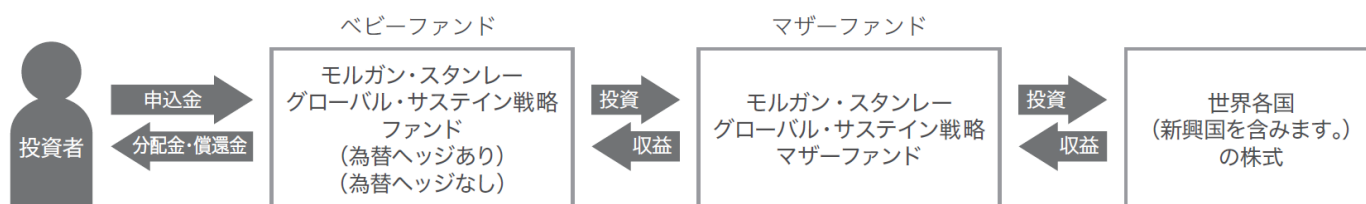
- 組入銘柄の選定にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチにより、企業の質（高い投下資本利益率、財務健全性、経営陣の経営能力および高いブランド力や強固な販売網等の無形資産に基づく競争優位性等）、ESG※3の観点等を勘案し、持続的な利益成長が期待できる銘柄を選定します。
- ポートフォリオの構築にあたっては、時価総額および流動性が高い大型銘柄を中心とすることを基本とします。

※1 Depository Receipt（預託証券）の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。

※2 「実質的な主要投資対象」とは、マザーファンドを通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

※3 ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）およびCorporate Governance（企業統治）の総称です。

2 ファンドはマザーファンドを通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。



マザーファンドの運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

3 「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジあり）」は原則として為替ヘッジを行ない、「モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド（為替ヘッジなし）」は原則として為替ヘッジを行ないません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当ファンドの投資リスク

ファンドのリスクは下記に限定されません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

《基準価額の変動要因》 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

◆ 株価変動リスク

ファンドは、実質的に株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株価変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。

◆ 為替変動リスク

「為替ヘッジなし」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

「為替ヘッジあり」は、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。なお、現地通貨による直接ヘッジのほか先進国通貨を用いた代替ヘッジを行なう場合がありますが、その場合、通貨間の値動きが異なる場合が想定され、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかるため、基準価額の変動要因となります。なお、一部の通貨においては為替ヘッジの手段がない等の理由から為替ヘッジを行なわない場合があり、為替変動の影響を直接的に受けることとなります。

お申込みメモ／当ファンドに係る費用

■ お申込みメモ

● 信託期間	2030年3月6日まで（2020年2月28日設定）	
● 決算日および収益分配	年1回の毎決算時（原則、3月6日（休業日の場合は翌営業日））に分配の方針に基づき分配します。（再投資可能） * 初回決算日は2021年3月8日となります。	
● ご購入時	● ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	● ご購入代金	販売会社の定める期日までにお支払いください。
	● ご購入単位	ご購入単位は販売会社によって異なります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。
● ご換金時	● ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	● ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
	● ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
● その他	● スwitching	「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」間でSwitchingが可能です。 ※販売会社によっては、Switchingのお取扱いを行わない場合があります。
	● お申込不可日	販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、Switchingの各お申込みができません。 ・ニューヨークの銀行・ニューヨーク証券取引所・ロンドンの銀行・ロンドン証券取引所

課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（Switchingを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※お申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

■ 当ファンドに係る費用

（2020年10月現在）

● ご購入時手数料	ご購入価額に 3.3%（税抜3.0%） 以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額（詳しくは販売会社にお問い合わせください。） <Switching時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 詳しくは販売会社にご確認ください。								
● 運用管理費用（信託報酬）	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の日々の純資産総額の合計額から決まる率を、各々のファンドの純資産総額に乗じて得た額								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ファンドの純資産総額（「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」の純資産総額の合計額）</th> <th>信託報酬率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100億円以下の部分</td> <td>年1.925%（税抜年1.75%）</td> </tr> <tr> <td>100億円超500億円以下の部分</td> <td>年1.870%（税抜年1.70%）</td> </tr> <tr> <td>500億円超の部分</td> <td>年1.815%（税抜年1.65%）</td> </tr> </tbody> </table>	ファンドの純資産総額（「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」の純資産総額の合計額）	信託報酬率	100億円以下の部分	年1.925%（税抜年1.75%）	100億円超500億円以下の部分	年1.870%（税抜年1.70%）	500億円超の部分	年1.815%（税抜年1.65%）
ファンドの純資産総額（「為替ヘッジあり」「為替ヘッジなし」の純資産総額の合計額）	信託報酬率								
100億円以下の部分	年1.925%（税抜年1.75%）								
100億円超500億円以下の部分	年1.870%（税抜年1.70%）								
500億円超の部分	年1.815%（税抜年1.65%）								
● その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 （運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。）								
	<ul style="list-style-type: none"> 組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 外貨建資産の保管等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドに関する租税 <p style="text-align: right;">等</p>								
● 信託財産留保額（ご換金時、Switchingを含む）	1万口につき基準価額に 0.15% の率を乗じて得た額								

上記の費用の合計額については、投資家の皆様が発行される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

< 当資料について >

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成した販売用資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

< お申込みに際してのご留意事項 >

● ファンドは、元金が保証されているものではありません。● ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。● 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。● 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。● ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。● **お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。**

◆ 設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

● ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

モルガン・スタンレー グローバル・サステイン戦略ファンド (為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)

以下は、取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行 <small>(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)</small>	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。